

榑原こども園だより

雲の上のプールへ

今年は、年に5回ずつ、3歳児4歳児5歳児の各クラスがバスに乗って雲の上のプールへ。地域のボランティアの方がインストラクターとして、指導やサポートをしてくださるので、安心安全にプールでの遊びを楽しみました。園のプールと違って温水で広いのでのびのびと身体を動かすことができ、子ども達も毎回楽しみにしていました。



ビート板を使ったり、けのびをしたり、ゲームを取り入れたり競争したりすることも楽しくて、開放感を味わいながらあつという間に時間が過ぎていきました。プールでの経験を通し、水に親しみがなばる力や挑戦する意欲を身に付けることができました。

矢崎の森へ

9月8日(月) 今年2回目の「森の中の幼稚園体験」に行ってきた。

矢崎の森では、年長組19名が自然の中で森林散策活動をしてきました。この日は朝方には前日降った雨も上がり、快晴になりました。子ども達もこの日をとっても楽しみにしていました。

自然の中で発見を楽しんだり、考えたりする経験をしたり、2回の活動を通して自然の変化など、五感を通して気付いたり感じたりすることができました。木の枝につかまってぶら下がったり、木にロープをくりつけた手作りブランコで遊んだり、谷の水に足をつけたり、山の斜面を上り下りして森の中をたくさんさんの支援者や協力者の方々にサポートしてもらいながら散策することができました。その日、年長組はうれしそうに「矢崎の森」から帰ってきました。

また、年中組も10月に行く予定で、年長組は3回目を11月に行く予定にしています。

次回は、山も紅葉し、秋の深まりが感じられることでしょう。

敬老会へ参加して

9月14日(日)は各地区で敬老会が行われました。子ども達も各会場へ分散して行き、自己紹介をしておじいちゃんやおばあちゃんの名前を言ったり、歌や踊りでお祝いしてきました。子ども達の元気な姿を見てもらい、大きな会場で発表する経験を通じて子ども達の心も成長できました。地域の中で見守られたり親しみを感じたりしながら、いろいろな行事に参加して社会性を育む機会にしたいと思います。



笑顔いっぱい

榑原こども園では「笑顔いっぱいの保育をしよう」を合言葉に職員一同、保育に取り組んでいます。

笑顔であいさつをすると人に安心感を与えます。子どもも大人もしかめっ面の人には話しかけようという気にはなれません。笑顔の人は心が開いている証なので、人にも好かれます。

自信がないと笑顔になれず、いつも誰かに責められるのではないかと考え、話かけにくい雰囲気を作って自己防衛してしまいます。

心のドアを少し開けて、今日から子どもにも周りの大人の人にも自分から笑顔に向けてみましょう。たとえあいさつが返ってこなくても繰り返して行くうちになんとなく相手は親しみをもってくれます。

普段から人とかかわりあう喜びを感じるのがコミュニケーション力につながります。子ども達も大人も笑顔が自然に出せるそんな関係を作り、子ども達も安心して過ごせる社会を作っていきます。今日もそして明日も、笑顔！笑顔！です。

幼児教育アドバイザー 日向國雄